

Title	大型計算機センター利用に関するアンケート調査の報告について(Quick Report)
Author(s)	下條, 真司; 土師, 香; 坂賀, 力; 宮永, 勢次; 吉崎, 幸二
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 96 P.49-P.53
Issue Date	1995-05
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/66099
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

大型計算機センター利用に関する アンケート調査の報告について

(Quick Report)

研究開発部 下條真司、土師香
システム管理掛 坂賀力、宮永勢次、吉崎幸二

はじめに

平成6年11月中旬から12月下旬にかけて、大型計算機センターの利用に関するアンケートを大々的に行いました。これは、大型計算機センターのサービス向上や今後のシステム更新、講習会などの企画に役立てるために、広く利用者の意見を伺い、また、現在利用者でない方々にも、なぜ利用しないかという意見を頂き、潜在的な利用者の掘り起こしをしようといわれたものです。

学内外の教職員、大学院生を合わせて6600通のアンケートを配布し、幸いにして約1000通の回答をいただきました(表1)。この場でお礼を述べさせていただきます。単なるアンケートの回答以外にもたくさんのご意見やご要望を頂き、職員総出で整理にあたっておりますが、あまりにも数が多く、整理しきれないのが現状で、うれしい悲鳴をあげております。これらのご意見、ご要望に関してはセンター内でも現在対応を検討しており、早期に対応可能なものも含めて、8月発行予定のセンターニュースに掲載するつもりです。

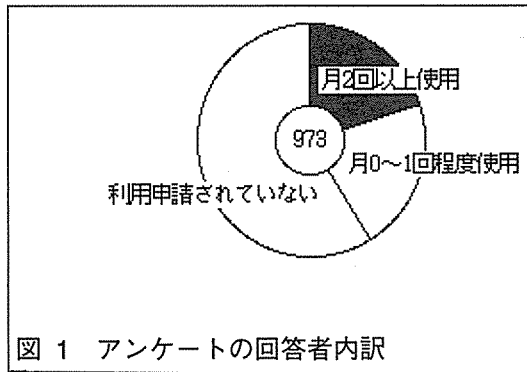
今回は、quick reportとして、主な結果を掲載しております。詳しい分析については、引続き次回センターニュースでご報告する予定です。

表1 アンケートの回答内訳

回答方法	学外	学内	計
郵送によるもの	158	615	773
FAXによるもの	3	3	6
汎用機(ACOS)によるもの	16	10	26
電子メールによるもの	42	90	132
Mosaicによるもの	5	31	36
計	224	749	973

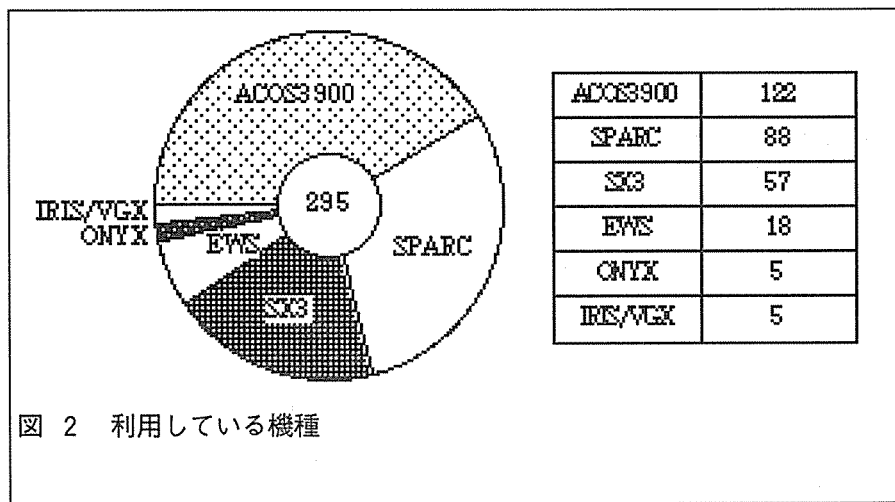
アンケート回答者の内訳

今回のアンケートは、解答者を大きく3つのカテゴリーに分けて質問させていただきました。その結果、大部分がセンターを全く利用されていないか、センターを月1回程度しか利用していない方の解答になりました(図1)。まだまだ、潜在的な利用者が埋もれていることに驚かされます。

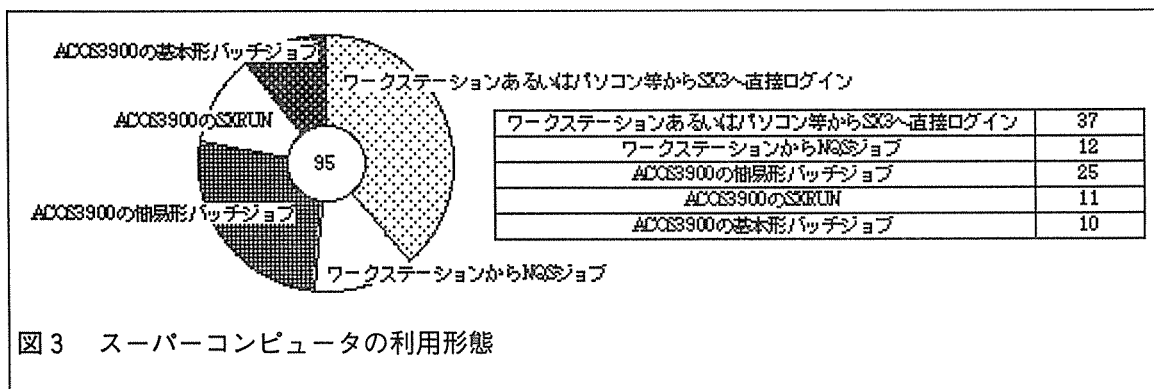


センター利用者

アンケートの回答を頂いた中で、センターをある程度利用される方の約半数ほどが、Sparc, EWS, ONYXなどのワークステーションを利用されており、スーパーコンピュータのUNIXを合わせると半数以上がUNIXを利用されているという結果が出ました(図2)。あとの半数



はACOSというあらかた運用を反映した結果になっています。また、スーパーコンピュータの利用も汎用機からUNIXを意識せずに利用されている方が1/3強という結果になりました(図3)。



次回の更新時に汎用機を残すかどうか、議論されていますが、ずばり必要かどうかという質問には、必要と不要が同数程度あるものの、機能が代替可能であれば、置き換えてもよいという意見が多数派を占めました（図4）。同時にN1ネットワークについても、利用していない方と利用している方が半々程度という結果になりました（図5）。

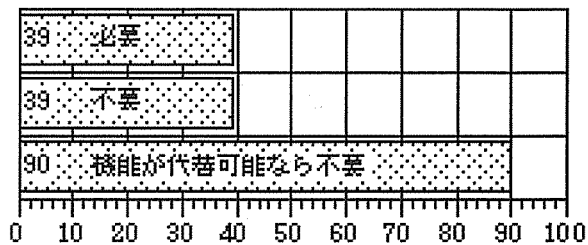


図4 汎用機は必要か？

利用負担金に関しては、高い、制限となっている方が半分程度おり、安ければ利用するという意見が多く聞かれています。そのためには、定額性など大規模な料金体系の変更も検討しなければいけないかもしれません。

利用負担金に関しては、高い、制限となっている方が半分程度おり、安ければ利用するという意見が多く聞かれています。そのためには、定額性など大規模な料金体系の変更も検討しなければいけないかもしれません。

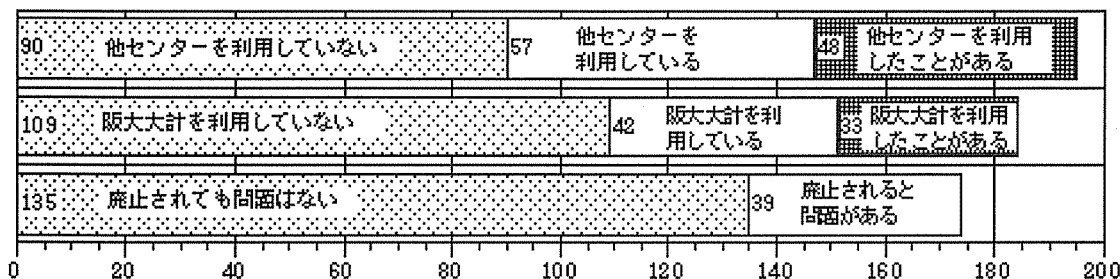


図5 N1ネットワークの利用

センターをたまに使う人

月1度程度しかセンターを利用しない方のセンターを利用しない理由は図6の通りです。やはりワークステーションで十分であるという意見が、大勢ですが、使いにくい、使い方がわからないという方も多く、センター側でマニュアルの整備などを行う必要性を実感しました。特に図7のようにワークステーションの使い方がわからないという意見が多く聞かれています。

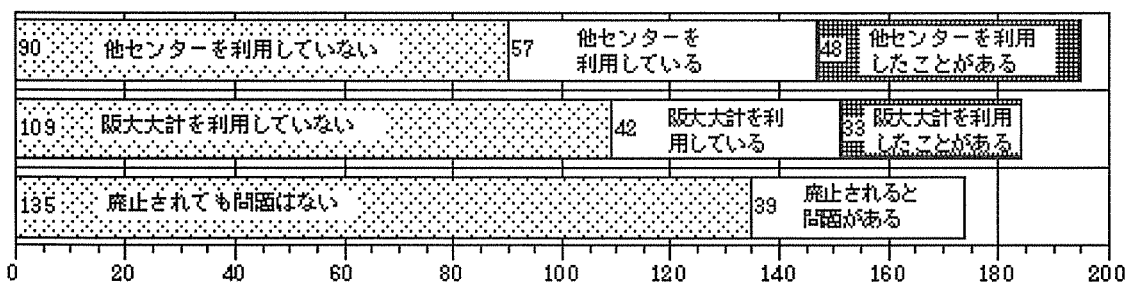


図6 センターをあまり利用しない理由

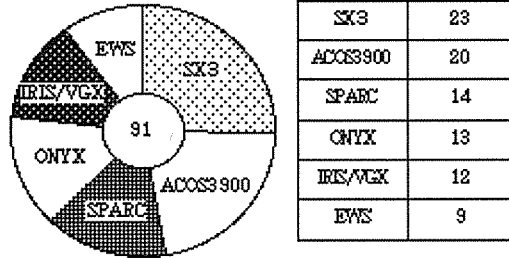
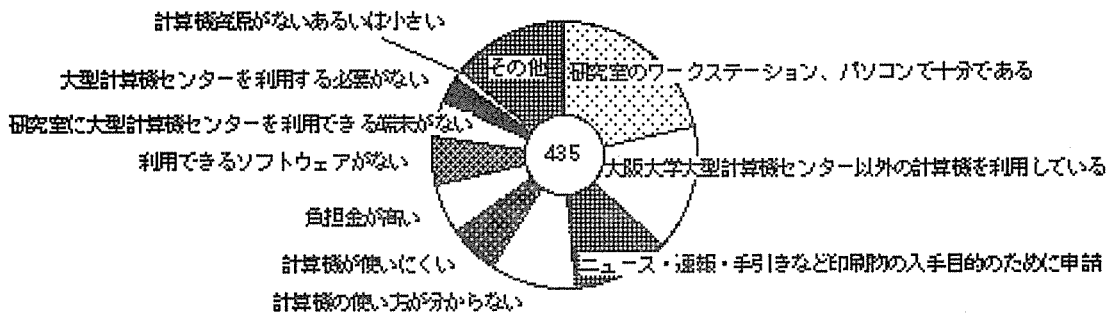


図 7 利用のしかたのわからない計算機

センターをまったく使っていない人

まったく利用申請をされていない方も、利用資格を知らないという方が半数近く居られ、センターの宣伝不足を感じます (図 8)。今後、広報のあり方や利用申請の仕方も検討していかなければなりません。また、ODINS を通して利用できることもあまり知られていません (図 9)。しかし、最後に半分の方が、今後利用してみたいというご意見であることに希望を感じました (図 10)。



研究室のワークステーション、パソコンで十分である	94
大阪大学大型計算機センター以外の計算機を利用している	66
ニュース・通報・手引きなど印刷物の入手目的のために申請	52
計算機の使い方が分からない	45
計算機が使いにくい	27
負担金が高い	26
利用できるソフトウェアがない	26
研究室に大型計算機センターを利用できる端末がない	19
大型計算機センターを利用する必要がない	15
計算機容量がないあるいは小さい	3
その他	62

図 8 利用申請していない理由

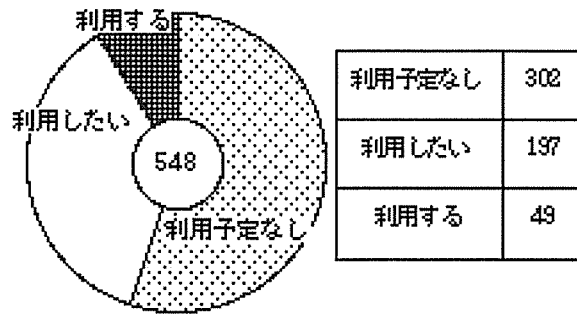


図 9 ODINS 経由でセンターは利用できるか

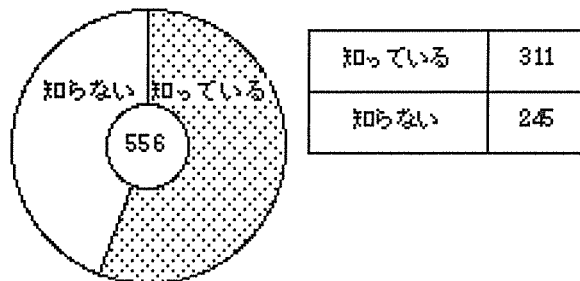


図 10 利用の予定はあるか？

センターに課せられた課題

今回は、ざっと眺めただけですが、以下のように幾つかの課題が浮かび上がってきました。

- 広報のあり方
- 利用申請の仕方
- マニュアルの整備
- 負担金のあり方
- 汎用機・N1からの移行

今後、さらにアンケートを分析するとともに、これらの課題に対する解答を打ち出していかねばならないと考えています。